

第5学年 年間指導計画(家庭 全60時間)

学習の目標	
衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にすることを心がけ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。	
学習の方法	
○ 家庭生活の大切さを意識して学習をすすめるため、自分の身の回りを見つめながら課題を明確にする。 ○ 調べたり、話し合ったり、実行したり、まとめたり、発表したりするなどの活動を通して体験的な学習をする。 ○ 家庭生活をよりよくする意欲を持ち、児童は身につけたことを日常生活に生かす取り組みを計画する。	
学習の評価	
次の4つの観点にそって、どれだけ実現できたかによって評価する。 1. 家庭生活への関心・意欲・態度 2. 生活を創意工夫する力 3. 生活の技能 4. 家庭生活についての知識・理解 評価は、学習カード・発表・グループ活動・準備物・行動・ノート・ペーパーテストなどで行う。	
単元名	主な学習内容
☆さあ、家庭科を学びましょう(ガイダンス)	・これまでの自分の成長を見つめ、2年間の学習の見直しをもつ。
1 見つめてみようわたしと家族の生活	・1日の生活を見つめ、家庭生活に関心を持ち、家庭生活と家族の大切さに気づく。
2 はじめてみよう クッキング	
(1) クッキング はじめの一步	・家庭科室のガスコンロを使って、湯をわかす。 ・調理の手順や調理器具について調べる。
(2) ゆでてみよう	・ゆで方や時間、ゆでたときのちがいが理解する。
(3) ゆで野菜のサラダをつくろう	・ゆで野菜サラダの計画を立て、調理する。
3 はじめてみようソーイング	
(1) 針と糸にチャレンジ	・針と糸を使って、玉結び、玉どめ、名前のぬい取りをする。 ・ボタンのつけ方がわかり、つけることができる。
(2) 楽しい小物づくり	・いろいろな縫い方を調べ、小物の製作をする。
4 かたづけよう身の回り	
(1) 生活している場所に目を向けよう	・生活している場所を見つめ、整理・整とんが必要な理由について考える。
(2) 整理・整とんをくふうしよう	・身の回りを整理・整とんする計画を立て、工夫しながら整理・整とんする。
5 できるようになったかな家庭の仕事	
(1) わたしにできる家庭の仕事を増やそう	・家庭には衣・食・住に関する仕事があり、自分や家族の生活を支えていることを理解する。
(2) 家族に協力して仕事をしよう	・自分にできる仕事を考え、工夫しながら継続的に実行する。
6 わくわくミシン	
(1) ミシンぬいにチャレンジ	・ミシンを安全に操作し、直線縫いをする。
(2) 計画を立てて、つくってみよう	・布について調べ、計画を立てて、生活に役立つ物を製作する。 ・アイロンの安全な取り扱いができるようにする。
7 元気な毎日と食べ物	
(1) どんな食品を食べているだろう	・毎日食べている食品を調べ(体内のはたらきにより)3つのグループに分ける。
(2) 五大栄養素のはたらきと食品のグループ	・食品にふくまれる五大栄養素と体内でのおもなはたらきについて知る。
(3) バランスのよい食事をしよう	・バランスのよい食事について考える。
(4) ごはんとみそしるをつくろう	・伝統的な食事に欠かせないごはんとみそ汁の調理をする。
8 じょうずに使おう物やお金	
(1) 物やお金の使い方を見直そう	・物やお金の使い方をふり返り、じょうずな買い方について考える。
(2) 買い物のしかたを考えよう	・食品や衣服を買うときに気をつけることを調べ、じょうずな買い物をするためにまとめる。
9 寒い季節を快適に	
(1) あたたかい着方をくふうしよう	・寒い季節に合った着方の特徴や衣服のはたらきについて考える。
(2) あたたかく明るい住まい方をくふうしよう	・日光の役割を考えたり、あたたかく過ごす方法を調べたりする。
10 家族とほっとタイム	
(1) 楽しい団らん	・ふれあいや団らんの大切さを理解し、その方法はさまざまあることに気づき、家庭によりどのように工夫するかを考える。
(2) つながりを深めよう	・団らんをもつ計画を立てる。
☆家庭科の学習をふり返り、生かそう/環境を考えた「エコライフ」をくふうしよう	・1年間の学習をふり返り、学習したことやできるようになったことを確認し合う。